F—15　地方新聞家庭欄を通してみた主婦の家政・家事に対する関心の変遷（第2報）

熊本女短大　　奥村美代子

1.　第1報において，戦後における熊本地方の主婦の家政及び家事に対する関心の変遷を，地方紙の家庭欄記事取扱量の変動により検討したが，今回はその戦前についての検討を行なう。

2.　熊本日々新聞及びその前身の九州日々新聞について，家庭欄関係記事が最初に出現した大正5年から昭和20年の終戦に至るまでの30年間の全紙面調査を行なった。

なお，広告欄記事中に現れた婦人の職業に関する広告の調査もあわせて行なった。

3.　①戦前30年間を通じ，常に記事量の多い項目は児童関係，健康関係である。

②食物関係はさほど変動がないのに対して，被服関係は年代により変動がいちじるしい。

③家族関係・家庭経済関係は昭和10年代以降戦前にかけて漸増する。

なお，求人広告からみた婦人の職業は，その量も種類も年代と共に次第に増加をしめしている。